京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年

本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金排五十錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎

發行所　京城新報社　京城西署西小門通（電話六八六（二））

雜報

伊藤公と目賀田男（三）

其意見書中に私もツイ眼が屆きませぬでしたが、對韓經營といふ四字があつたのです、公は皆見せられて「對韓經營とは……」と私に言はれたですが、私は直ちに心附き、全く私の意到らずして右の四字を用ひたりしも、右はツイ世人の常套語を襲用したるの誤にて私の意味は『韓國に於ける』といふことでございますと御答へし、公は首肯せられたるが如く見ゑました、此の如き事より推して豫ても其志なりしと雖も私に於ては斷然公の意の在る所を體察し、公の意を酌み取り、韓國に對するといふ意を以て執務せず、先づ第一に韓國の利益を興し從て日韓協同、日韓一家の心を以て能く韓國の扶植を主とし、其國富を興し、其民人を利するといふの精神は、此四字に對する公の一喝に依つても大に勵まされたのであります。

當時借入れたる企業資金千萬圓の支辨せらるべき事業は模範としての道路、水道、教育の施設等皆韓國々民の衛生、利益、殖産を勵むるの事のみでありました、引續いで釜山水道の計畫を該地の民團にて有し居りて、其が資金の借入及び該水道を韓國政府に於て起工し監督し、落成の上民團に引渡し又若干年間は民團を補助するの件は終始公より親しく訓令を受けたことであります。

是と同時に韓國政府は留學生を日本に送らんとの議を提出しました、所が公の申さるゝには、日本が曾て往年留學生を外國へ派遣したる經驗に依れば、折角留學生は成業して歸朝しても、大概の制度及び諸設備が之に伴はざれば折角歸朝したる留學生も其得たる所を施すに由なく、若くは教師と爲り、若くは他の業に轉じ、竟に其懷抱せし所を施したる者は甚だ少き實例もある、多額の留學費を費して少數の生徒を日本に派遣するも、我舊時の實例と殆ど同じきあらんか、寧ろ留學生派遣のことは差控へ、京城に專門學校を立つるに如かず、然る時は多數の生徒を收容し此目前に於て諸般必要の學術を授くるが故に其卒業生も就職の上に於ても極めて便利なるべく、爾かするに如かずとして、直ちに決せられて工業傳習所を京城に置くことになつたのです、是等は實に短時間に行つたことでありますが、今日既に充分なる成蹟を現はしつゝある譯であります、又是と同時に農林學校及び農事試驗場を水原に置くことも速に決行せられたのです

公は最初に日本に歸らるゝに臨み傳へられたのは、京城に三種の小病院あり無論統一なく、施設も區々に渉り、規模小なるが故に、殆ど醫學機關としても完備を缺くことにて、余は之を統一して一病院とし、一學校と爲すべきことを話され、さて其經費のことなるが在來右等の各部局に於て小額ではあらうが遣ひ居る金額もあり、是等を總括し、又右にては定めて不足なるべきに就き、矢張り是も最初の事なるに依り企業資金より支出經畫を立てよ且つ成るべく完備を求めたきものなりとの希望を申されました、從つて公の示命に依り經費を經畫し、且又政府所屬の建築事業は當時顧問部に於て取扱ひ居りしに依り相當の經畫を立てしめ、公の再び歸任せらるゝを待つて之を公に進めたるに、恰も公の意に適したるものゝ如く、丁度五月の頃なりしが、當時成るべく早く之に着手し、能ふべくは年内に落成を見んとの希望を有せられ、夫れよりして建築材料其他に附けても種々の方面に委囑し、遂に二の模範病院を京城に現出したることになりましたが、是は實に醫療醫術機關の殆ど皆無とも申すべき韓國にあつては非常なる惠福を與へられたることであります。

是と共に他の方面に於ても大邱若くは平壤の如き種々の方面の協力に依つて公立病院の設立を進めたる次第であります。

又或時公の示さるゝには鴨緑江の營林事業なるが、既に陸軍に於て營林廠を設け施設中なり、追つては相當の利益を見るべきことなれば韓國側に於て資金を準備し日韓協同の事業を爲して各資金は各々等分に負擔するの計畫を立てよとのことにて、此資金の支出を經畫した次第であります、殊に韓國の側より官吏を指命すべしとのことまでも細やかに配意せられたのです、又鎮海灣に海軍要地を設置するに就き、民有地の買上代金三十萬圓程を交付するに就ては、此民有地を買上げる順序、測量等のことは委細私へ示託せられまして、恰も此測量のことは韓國兩班の子弟等より選定して測地生徒養成中に就き、之をして該測量に從事せしむべしとて、是等修業生を使用せしに、孰れも草鞋穿となつて非常に勉強し終に日本海軍大臣より特に賞與を與へられた程であります、測量のことは右の如く精密に行はれて、丁度内地に於ける陸地測量と同一の成績を見た次第でありますから、人民との關係に於ては圓滿なる進行を見た譯ですが、公が殊に配意せられたのは其代金の渡し方であります、從來韓國の風として地方の吏員に代金を渡す時は、其代金は人民に滿足に渡ることは少く、多くは途中に滯り、若くは人民に渡る額は僅少なる額になることもあるを察せられ、右樣のことであつては甚だ趣意を失ふに就き、代金の渡し方には充分に注意し、必ずや各人に一々渡る如く骨折れとのことにて、私は逐一公の命を拜し、必ず公の意を滿すべしとて、先づ代金を個人別々に分ち、町村吏員、警察官吏及び度支部官吏、地方官吏、立會の上、各人に一々代金の交付を爲しましたが、此の如きは殆ど未曾有のことでありまして、人民は大に安心し、且つ喜びたることで、之を復命したるに公は大に安心せられた風であります、他の公用に於ても同じことでありました」（續く）

和歌募集

勅題「新年雪」　選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日　本社編輯局

◎新刊紹介

●實業之世界（六ノ十四）　三宅雪嶺の先輩青年接近論は近頃の快文字比喩を軍隊にとり食ふ食はぬの問題にあらず利害の關係は從さすべしと說く邊吾意を得たり野依社長の青年を過らんとする先輩の修養論亦た佳し唯赤手金儲けの話は陳腐の嫌なからず△十一錢△東京芝區三島町實業之世界社發行

●銃獵界（五ノ十二）　十錢△橫濱市本町二丁目金丸銃砲店發行

●商標公報（十）　統監府特許局發行

●婦人界（一の九）　世の要求につれてか人の好奇心を覗ふ派手な浮薄な記事の見當らざるは本誌の特長らしい本號載する所の萩子の「嫁入してから感じた事」中の母の數を輕んじたのが第一の不覺、夫の職業に對する覺悟の如きは未婚者に讀ませたき文字である小谷文學士の「一筆啓上」秋香女史の「女子の見たる女性觀」堀文學士の「西洋の母が子に對する考」村上教師の「女學校の教員となりて意外に感せし事」などこも亦た見遁し難い記事で此他に化粧問答流行問答小說の隣同志（柳浪）過等の景物もある十數個の繪畫寫眞版は批評する丈け野暮△二十錢△東京日本橋區本町三金港堂書籍株式會社發行



第五十一席　伯山改　神田松鯉口演

抑々爲朝十八歲にて洛に上り、保元の合戰に名を顯し、大島に謫されて島々を管領すること十一年、其勢ひなかなか盛でありましたが勅勘の身なれば終に志を伸るに至らず、嘉應二年四月下旬二十八歲にて自殺せられました、左れば保元平治の擾亂に諸源悉く滅亡し只平家のみ朝恩に浴して官位俸祿意に任せずと云ふことなく、實に平氏の勢ひは大したことになりました、然し「本朝語園」と云ふ書物に依りますると爲朝は大島で自殺されず琉球へ逃れたとしてあります、馬琴翁もこれに據つて『弓張月』を書かれ、琉球のことも詳しく書いてありますが、夫等を申上げて居ると長くなりますから、正史通りの大島にて自殺されたとして局を結ます、さて御話は後に戻りまして白縫姫のことに就いて申上げます、白縫は先に千貫の郷にて茂光が伏兵を切散し、紀平治等と共に讃洲へ來られて、遺恨やる方なく、再び計策を巡らし、先づ讃岐の院を竊取り奉りて、船路より伊豆の大島へ押渡り、御曹司と一手になりて事を起さば、東八箇國は輙く從ふべしなど、只管に肺肝を碎き、紀平治にも思ふ程を宣ひ給ふど、紀平治の答に「某も其事を思はないでもござりませぬ、然れども新院は初め當國の在廳散位高季が造りし松山の堂舍に在しけるが、國司既に直島と云ふ所に御所を造り出して遷し奉り、四方に築垣を塗まわし只門一つを明けて晝夜の守護懈ることなく、三度の供御を進らするの外は、人の出入ることを許さずと聞き候、斯かれば僅かの軍兵を以て擦ひ取り奉らんとすれども、叶うべからず、若し然に爲損せば、大島に在ます御曹司の上までも危かるべし、兎に角時の至るを御待ちあつて然ると存じます」と諫めた、斯くて保元の年號は僅三年にて終りて、明くれば平治と改元あり、は去年の八月十一日、後白河の帝皇位を第一の御子守仁王君に傳へ給ふ、二條院と申すは是なり、斯くて白縫は愈々宿志を遂ぐる事叶はず、諺に坐して食へば山も空し」と申します、賴む陰なき主從が、旦開の煙立て兼ねて十人の女使も己むを得ず身の暇を給はつて、己が樣々なりまして今は紀平治と一人の女童八代のみ殘つて居りますが、近頃志渡い浦曲に移り、仕なれぬ海人の業をなし、潮を汲み、貝を拾ひ、漸く其日を送り給ふに、紀平治は初めより女主と一つに居らんことを厭ひて、白峯と云ふ所に退居し、薪を樵り、炭を燒いて、僅かなる錢を得れば、之を志渡に送りて白縫主從が衣服の助として居つた、白縫は又海船旅人が江湖の雜談するにも耳を傾て御曹司の安否を知まほしく思召せしに有、日行僧が東路の物語する序に鎮西八郎爲朝は伊豆の島々を打從へ憚る氣色もなく在すれば領主狩野介茂光を持餘し今は彼島々へ船の往來を停めて、自から防禦の外に爲出したることもあらずなど語るを聞て、先づ嬉しく如何にしても大島へ消息し、吾が恙なきをも知らせ進らせ吾が身も渡海せばやとは、思召せども浪風荒き、青海原の稀に渡るも難く、島への往來を停られたりと聞ゆれば、之も亦心に任せず、更に一つの物思ひを増して有にかひなき世をはかなみ、茲に幾年の月日を經て嘉應二年八月下旬となりました、此年はまだ何時になき暑さ烈しく、そろ／＼と秋風の吹初る頃でありますから殘暑はまだ去らずして實に堪ない暑さ、白縫は八代と共に蚊遣火などして居られますると、此の志渡で手習師匠をして居る櫻花堂と云ふ老人がやつてきた、此老人はいつも退屈すると白縫の所へやつて來ては和歌の話、書道、武藝などの話をして樂しんで居る、年は七十にもならうさ云ふ至つて人望のある道德家でございます、白縫姫も此老人とは心置きなく種々の話などされて居られた。



合邦騷は兒戲

大隈伯の談

大隈伯は語つて曰く一進會が日韓合邦を決議したと、どう云ふ方法に依りて合邦すると云ふのか北韓の貧乏人から成立てる僅か二十萬人位の一進會が騷ぎ出したとて何が出來るものか今日の所批評の價値がないと云つても宜しい一進會が合邦に就て採る所の方法は一切日本の主權に服從して韓國を縣郡にすると云ふのか又は依然王國として置いて日本に聯邦的に合併すると云ふのか獨逸の如きも小王國を其の儘にして置いて帝國を建てゝ居る墺匈國も聯邦的に合同して居る布哇は議會に於て米國との合併を決議して其の決議が米國政府の採用する所となると同時に女王廢せられて庶人となつた印度は英國に支配せられて居るけれども依然印度王國として存在して居つた明年はバルヲダ王が我が國へ來遊さるゝと云ふ事である韓國は唐の高麗より以來金にも元にも明にも愛親覺羅氏にも征服されたけれども依然王國として存在して居つた一進會の合邦論は王國もやめにして合併すると云ふのか又は君として我が陛下の冊封を受けしむると云ふのか一向其の邊の意味が判然しない一體他國を合併すると云ふ事は極めて難かしい事業で近き例が巴爾幹半島である巴爾幹問題が起つて以來三十年後に漸く王國が合併の實を擧げた是も露國が日露戰爭の打擊を受けて弱つて居たればこそ大した騷動も起らずに濟んだが若し露國が戰爭より受けた創痍がなかつたならば合邦未だに行はれずに居つたかも知れぬ韓國は巴爾幹半島の如くにもせよ合邦が成立つものと假定すれば合邦と同時に各國との條約を廢せねばならぬ其の條約廢止の通牒を發した時に各國が合邦を承認するや否や先づ豫じめ巧妙なる外交に依賴せねばならぬ今日は果して巧妙なる外交を行はねばならぬ程合邦の必要を痛切に感じつゝあるや否や我輩は知らずと思ふのである又之を他の方面から觀察すると一進會の今回の決議は一種の革命である時と場合に依りては我が邦が革命者を扶くべき韓國の運命を支配する所の實權は我が國の獲得する所であつて之を亡すも取るも我が國の方針に依りて決定するものである唯目下斯る行爲を敢てする一進會を扶くる必要なきものと思ふ然らば我が國は何時何時韓國を合併せんかと云ふにそれは事情の變化に依りては如何になるべきか豫じめ斷言する事は出來ない兎に角一進會の日韓合邦騷は兒戲也と稱するの外なし

東京電報

▲**板垣伯爵に學位** 米國エール大學は板垣伯に學位を贈るべく決議し此程通知し來れり(九日)

▲**賀陽宮殿下の薨去** 賀陽宮邦憲王殿下には一時御輕快を傳へられ國民一同一日も速かに御快癒あらん事を祈り奉りたる甲斐もなく終に八日午後薨去遊されたり京都の御本邸は皇族方初め御弔問の人々引きも切らず頗る混雜を極め居れり御葬儀の期日は本明日中に發表せらるゝ筈

▲**關稅改正の調査** 明年度を以て改正すべき各國との通商條約に關しては着々調査進捗協定稅率標準に就ても略終了し稅權問題は後回しとし目下土地所有權永代借地權沿岸貿易最惠國條款殖民地除外例に就き起草中なるが本年內には終了覺束なく閣議提出は明年早々なるべし

北京電報

▲**唐紹怡執務は虛** 唐紹怡が奉三省總督錫良に代り日清懸案解決の任に當るべしとの說あるも同人は宿痾たる肺患重く從て虛說なるべしと(九日着)

▲**米實業團の渡清** 米國太平洋岸實業家は清政府の招きに應じ渡清に決せるが期日は來春三四月頃なるべく目下人撰中なり(同上)

▲**慶親王等の辭任** 慶親王及榮慶は愈辭職のことに決せり

歐州電報

▲**露藏相の轉任說** 過日哈爾賓來遊の現露國藏相マコチルソ氏は目下空位なる佛國駐劄大使に任せらる可との說あり(九日東京經由)

▲**露皇后の御危篤** ジエジヤルに御療養中なる露國皇后陛下には御危篤の爲め同國皇族方は同所に召集せられたり(同上)

▲**西班牙帝の手術** 西班牙皇帝アルフオンゾ陛下には左耳に化膿性炎衝を起し外部手術を要すと

紐育電報

▲**米大統領の教書** 米國大統領タフト氏は國會に「米政府が清國に於ける機會均等主義と同帝國保全主義を堅く尊重して渝らざる事日本實業團の來訪は相互の意志疏通に多大の貢獻ありし」との教書を送れり(七日着)

雜報

免稅(施行)規則發布

既報の如く本年五月法律第十九號間島及渾春地方へ向け清津港を輸出入する貨物免稅取扱規程は愈々九日の官報度支部令第三十二號を以て發布せり其要點を摘記すれば左の如し

一、免稅取扱を受けんとする者は輸入の際間島或は渾春地方へ發送する貨物なる旨明記せる輸入申告書を清津稅關支署へ提出免許を受くべし

二、稅關に於て必要を認むる場合は申告貨物に對し輸入稅相當の擔保を提供せしむる事あるべし

三、免許貨物輸入者は通過地稅關監署に就き該貨物を間島或は渾春地方へ輸入したる旨證明を受け該證明書は遲滯なく清津稅關支署へ提出す可し

四、免稅貨物輸入者は免許を受けたる日より二箇月以內に前項證明書を清津稅關に提出せざる時は輸入稅を徵收せらるべし

五、間島及渾春地方より清津港を經て輸出する貨物は通過地の稅關監視署に就き該地方を通過して輸入せる貨物たる證明書を受け該證明書は輸出の際輸出申告書に添付して清津稅關に提出すべし

而して本令は隆熙四年一月一日より之を施行する旨の附則ありたり

技術官會議(三日目)

出席者參列員共に前日と同じく午前十時より開會し中村農務局長議長席に着し諮問案第二第三の事項は各自書面にて提出することゝし議事を略し第四の事項に付向坂技師外八名第五項に付き岩田技師外四名第六項に付長岡技手外四名第七項に付定野技手外四名第八項に付成瀨技手外三名各所見を陳述し續て協議事項第二より第五及び各技術官提出の諮問題を審議せんが爲め中村議長より左の委員を指定午後四時散會

一の組 花井技師、久次米技師、成瀨技手、定野技手

二の組 向坂技師、戶來技師、大町技手、申技手

三の組 岩田技師、齋藤技手、牧野技手、松井教師

四の組 草野技師、三浦技師、鈴木技手、町田技手

五の組 東野技手、佐藤教師、牛葉技手

六の組 長岡技手、小賀野技手、住吉技手、里沼教師

歳末の金融事情

本年の歳末に於ける金融は頗る平穩にして銀行には遊金多く日本にては非常の輸出超過を見たるの結果として全般の經濟界は恢復の氣運に向ひつゝあることなるが京城にては吳服屋等に多少の貸出しあると米價の下落に伴れて思惑買を爲す者ありて是等の資金に少しく需用あるのみなれども地方に於ては籾一石の價三圓位なるを以て農民の多くは賣惜みを爲して米を抵當に金を借らんとする者あり地方に於ては多少逼迫を告げ居れりと尙金利に就きては日本の如く遊金の多寡にて事業の興廢に多くの影響を與へざるゆへ資金の需用少なきも金利を引下ぐるが如き必要なしとて銀行家は平然たり而して現今の金利は當座預金一錢特別當座一錢二厘定期預金一箇年六步半箇年五步五厘貸出し日步三錢乃至三錢五厘見當なりと

●**韓鐵合併問題其後** 韓國鐵道合併問題は嚢に閣議に於て確定したるに拘はらず往來二箇月餘を經過したる今日に於て未だ奏請を仰ぐの運びに立至らざるが今其內容を聞くに第一大屋統監府鐵道長官は單に韓國鐵道管理局長として官等及び官廳より見るも鐵道院五管理局長との權衡を保たざるのみならず野村現任技監よりも先輩の地位にあるを以て同氏の爲めに更に官制を設けんとするの議あり即ち技監を二名とし同氏を技監に爲さんとするにあり第二服制問題は鐵道院の服制を實施し共に之を行はんとするものと又當分は統監府服になし置かんとの官僚側の意見もあり彼れ之れ決定を見るに至らざる次第にてその發表期も目下のところ見定めは附き難き由なりと

曾禰統監の談

所謂合邦問題に關し

曾禰統監は今回一進會が物々敷騷ぎだしたる所謂合邦問題に就てセオルプレス代表者に向つて語つて曰く余は一進會員及び其關係者等が何の理由を以て所謂日韓合邦なる亂暴なる提供を爲したるかを知るに苦しむ、若しも統監たる余が斯る淺薄なる謀計に因て余の統韓方針を動かし得るものと信せば幷は大なる誤なり、余は余の定めたる產業政策によりて韓人の生計を易からしめんとす。余は韓人に對し強壓手段を用ゆるを可とせず、何となれば日本が單に強力を以て韓人を制服したりとせんか之恰かも蠢々たる無數の蛇を側近く飼ひ置くに均しく斯る手段は永遠に日本の利益を安全に保護する政策と一致せざるものなり云々

●**屠獸規則と其罰則** 屠獸規則中第一條屠場を設くるには必ず地方長官の認可を得べく六箇月以內に營業を開始せざる者又は同期間營業を休止する時は右認可の功力消滅に歸する事第二條牛馬羊豚及び犬の屠殺解体は屠場以外にてなす可らざる事第六條地方長官に於て衞生上有害又は公安に害ありと認めたる時屠場認可を取消す事の三箇條に對し違反したる者は三月以下の懲役百圓以下の罰金に處する旨九日衞生局より各道へ通牒せり

●**朝鮮流の言論壓迫** 國民大演說會の幹事は八日午後某所に會議を開きたるが會する者三十二名國民新聞は一進會の機關紙にして徒らに人心を動亂せしむるのみなればこの際各戶を訪問して同紙の講讀を禁止し進んで各道にも人員を派して同樣の運動をなす事、上奏文所載の新聞紙は一々發見次第之を押收し肯かざる者には一枚十五錢づゝを與へて買收する事其他二三の件を議決したる由道がはヨボ式の言論壓迫と云ふべし

●**儒生及學生の動靜** 合邦問題に對する儒生等の動靜は最も注意す可き事なるが彼等は存外平穩なる態度を以て時勢を觀望し例の諸官蜚語を流布して愚民を煽動する如き行動あるを見ず唯だ昔ながら僚輩の私宅に集合して長煙管を卸へ不關焉を極め居れり又學生等は學部の監督嚴肅なる爲め能く其本分を確守し曾て時局問題を論議せず教鞭の下に孜々營々たるが如し其他各地共に頗る平穩靜態なり

●**警察沿革と日英博** 內部警務局に於ては此程李朝開國以來の警察官の沿革を七期に分ち第一期は李朝以來五百年間何等の變革を見ざりし捕盜大將、從事官、部將、軍官、捕役、軍士を第二期は日清戰爭以後日露戰爭當時迄の警務使、警務官、總巡、權任、巡檢、廳使等を第三期は現在官制のものをそれ〳〵撮影して一枚に縮寫し今次の日英博覽會へ出品する由

●**國民演說會幹事會** 八日午後二時鍾路商業會議所に於て國民大演說會幹事會を開き出席者三十二名にして左の件を決議し四時散會せり

一、國民新報は一進會の機關新聞なるを以て委員をして戶每に歷訪して講讀を廢止せしむること

一、李容九の聲明する日韓聯合邦は宋秉畯の指揮に依るものなるを以て宋は逆賊たり故に其罪を鳴さん

●**製紙業と農商工部** 農商工部にては夙に韓國製紙の有望なると認め多額の調查費を支出して調查しつゝありしが既に大體の調查を了へたる由聞く處によれば其有望なるは明かなるも交通及原料產地の距々たる爲め之が收集に頗る困難なるが如しと

●**各道の開廳式日取** 各道に於ける警察署の新築は略落成しが開廳式日取は左の如し

十日大邱、十二日金城、十三日驪州、中壤、十四日堤川、十六日全北古阜、十九日開城、濟州、二十三日錦山、揚州、原州

●**各政派首領の說諭** 一進會長李容九、大韓協會長金嘉鎭、閔泳韶、張基濂の四名は昨九日警視廳に召喚され若林總監より徒らに政見を發表して社會を攪亂せざる樣說諭さる

●**稅關監視所の新設** 別項所載の通り清津港免稅法律施行に就き左の通り監視署を新設せり

會寧郡會寧 慶興府慶興

●**大邱警察署開廳式** 十日大邱警察署に於て開廳式擧行の筈なるが中野警務課長武石會計課長は事務視察及び十三日の署長會議列席等の要務を兼ね九日大邱へ向け出發せり

●**學生修學旅行取締** 學部にては不日各道へ通牒を發し學生の修學旅行に關し取締方を依賴する由

●**憲兵分遣所の新設** 本月二日慶南馬山に憲兵分遣所を新設

●**會計檢查官譴責** 會計檢查課檢查官菅田勇氏は會計實地檢查に關し一部の概況を漏洩したる廉により官吏服務規律に違背せるものとし譴責せらる

●**茨城縣人懇親會** 來十八日午後五時より掬翠樓に於て忘年會を兼ね茨城縣人懇親會を催す由詳細は廣告にあり

▲**機敏なる李完用の立廻り** 李總理大臣は去る四日一進會が日韓合邦に關する聲明書を發すると同時に同會の傀儡師等の盛に桂首相の內命など吹聽したる爲め全然反抗の態度を取りては後難如何あらんかと一時顧慮を極め込みたるも曾禰統監に面會して暗に探りを入れたる結果我政府に於て今日直ちに合併の意思なきを知りて直に元老等に檄を飛ばし遂に閔泳韶等をして國是會に反對し大演說會を開催せしめ一方此機を利用して政敵一進會の撲滅を企畫し現に此程一進會を脫會したる副會長洪肯燮及領袖韓錫振氏の如きは彼が多額の金子を投じて買收せし者なりと

韓海漁業と範圍

韓國沿海六千海里に對し發許漁業の出願件數は六千件にして一海里一件の割合に達したるが假りに一海里に對する免許漁業の設定を算するに大漁具なれば二三十、小漁具なれば二三百と見て差支へなかるべし故に出願漁業は現在頗る多きが如きも海面利用の點より打算すれば大にしては二三十分の一小にしては二三百分の一に過ぎずして尙は漁區設定地は多大の餘地あるを知るを得べし而して斯は一般的平均觀察にして南韓方面の從業者稠密なると西海方面が尙ほ頗る稀薄なるが如き關係なれば必ずしも一樣に觀察すべからざるも要するに韓國の海面は綽々として我が漁民の經營を包容するに餘りある事明かなりと庵原水產課長は語れり

●**東拓會社員の無法** 東大門外洪陵位土(東大門外にあり洪陵附屬地)は元宮內府の附屬なりしを其後度支部の保管に轉換したるものにして土地の小作人は若干の年貢米を度支部へ上納し來りしに去る四日東洋拓殖會社の社員なりと稱する日韓人二十餘名突然年貢米の徵收に來りしを以て村民は度支部へ上納すべきものにして東拓會社へ上納すべき命令は未だ受けずと拒絕したるに會社員等は強制して家宅搜索を行ひ會社より持參したる桝を以て毎戶に付き會社員自ら目算したる耕畓面積を標準として毎斗落に付き從來例なき十三斗の高年貢米を徵收し而かも會社員の持來したる桝は一般使用する物より約三分の一大なるを以て村民は大に激昂し大擧上京して訴へる所あらんとするを以て其筋にて取調べたる所同地は度支部所管なりしを東拓會社へ移りたることを小作人に通知しあらざるのみならず東拓會社よりは小作米徵收に付き豫め小作人に通知せず不意に民家に闖入して社員等が持參したる桝にて貯藏の籾を無斷に量りたる由にて小作人中には收穫したる籾全部を持ち去られ糊口に窮する者ありと云

●**練習艦出港と見送** 仁川に碇泊中の練習艦隊阿蘇宗谷の二艦は豫定の如く九日午前九時半同港を解纜し鎭海灣に向ひたるが之れより先き信夫理事官、橋本副理事官、宮木稅關長、宮舘署長、岩崎民長、六笠觀測所技師は港外に至り同艦隊を見送れり

●**海軍武官等の下仁** 入京中なりし仁川港碇泊中の練習艦隊乘組將校海軍大尉田子島義利、中主計內田正廣、中軍醫平野正登氏等の一行は一昨八日仁川へ向つて歸艦したり

●**漁業の慘害と影響** 過日の北韓被害は十數年來未曾有の慘狀を極め隨て本年の明太漁獲高に多少の影響を免れざるべき見込なるが其程度に就ては當局者は不尠注意を拂へり

●**荻野文學博士講演** 文學大學の依囑を受けて目下韓國の習慣風俗實地調査をなしつゝある荻野博士の入京を期とし學部にては右調查に關する一場の講演を請ふ筈なりと

●**仁川會議所の總會** 仁川商業會議所は築港に關聯する事項調查の爲め荻谷書記長日本出張の件其他に關し九日午後六時より總會を開く筈

●**山道亞川氏退社** 大韓日報主筆として常に健筆を揮ひ居たりし同氏は今般都合に依り同社を辭したりと云ふ

●**鬼一郎氏の赴任** 釜山稅關技師に轉任を命ぜられし氏は九日仁川發赴任

●**寺島警部の歸任** 黃海々州署落成式に臨場せし寺島警部は九日歸任せり

●**下山時彥氏出發** 全州東山農場長の氏は入京中の處八日水原に向ひたり

●**永田書記官入城** 忠淸北道書記官永田幸太郎氏八日入城不知火旅館投宿

●**中西署長の入京** 瑞興警察署長の同氏は一昨八日入京東海旅館へ投宿す

●**水原署長の入京** 京畿水原警察署長の氏は八日入京し都旅館へ投宿せり

●**宮原忠正氏入京** 水原農林學校教授の氏は八日入京巴城館へ投宿したり

●**前川益次氏來京** 工學士の同氏は一昨八日來京し浦尾旅館へ投宿したり

龍山通信(九日支局報)

▲**鴨綠江の結氷** 八日新義州より鐵道廳に達したる報告に依れば鴨綠江面結氷同日午前九時安東縣より橇二臺瀨路として到着せしを以て目下橇の通路を開きつゝあり然れども每年結氷後一度は潮流の爲め壞裂するの例あるにより一般荷客取扱ひ始末の程は未定なりと

▲**新兵歡迎準備** 六師團に入營の新兵は十一、二の兩日龍山に到着する豫定なるが龍山民團にては目下歡迎準備中

▲**矯風講演開催** 十一日午後七時より老松町日本基督教會にて矯風講演會を催す辨士は山口照平曾田嘉伊知の二氏

▲治外法權▼

京城では合邦問題と稱する出來もせぬ不生產的な事で騷いで居る際に滿洲では大豆輸出の戰爭が日英獨露清商間に熾んに開けて居る、同じ騷ぐにしても經濟的騷ぎの方が實益が有つて又面白味が多い、韓國の騷ぎも之から經濟的の方へ向けたい、聞けば佛商ロンドン商會は韓大豆の歐洲輸出を計畫して居るソーだが日本商人も負けずに同計畫をするが宜しい▲合邦騷ぎの張本人を以て任ずる一進會員も之に反對する大韓協會員も腹がへつての惡い了簡をするのだ、合邦問題に就ては最早オヌシ達の提灯持も反對も要らぬ、ドーカ發心して田舍に引込み大豆でも澤山作出す樣にしたがよかろう▲伊藤公大葬の齋場で玉串を捧げるに我勝ちに先を爭ひ公爵未亡人を押除けたものがあつたソーだ、君子國に斯る非禮の徒があるとは慨はしき次第だ▲曾禰統監は來月東上せらるソーだが不在中は誰が代理をするか、合邦騷ぎのアト片付をヨクシテ行かぬと鬼の留守に洗濯をする者があるかも知れぬ▲事務取扱の三幅對が石塚君と小松君と鈴木君とだ、之等三人者は本官になるだけの資格が無のか、實務上は兎に角世間體は甚だ惡い、セメテ石塚君だけなりと早く本官にしたがよかろーソレとも統監は總務長官に新人物を納るる氣にや▲內地の新聞を見ると韓半島の風雲急なりなど書いてある、征韓論時代も今日も同樣に心得て居る內地新聞記者の無識には只驚くばかりだ▲朝鮮屋さんが一進會と一ショに騷いだつて淺間山の鳴動には迚も及ばない、本町通りは歳末賣出しが盛んだ、當らぬ合邦騷ぎをするより福引で參千圓とるがヨッポど增した。



野田平の寝言

▲統監を擲抛し▲大垣丈夫を罵倒し▲太廟參拜は振つて居る……

内部大臣の椅子を捨てゝ日本へ落ち延びた、宋秉畯は又新會の代議士小川平吉、猪ノ市、渡部源次郎氏と共に誰れの附智惠かは知らねども伊勢太廟に參拜して去る五日京都に出て澤文旅館に投じ宿帳には東京府士族野田平次郎と記し居たるが今般の合邦問題に關し例に依つて不謹愼極まる暴言を並べ居たるが今彼れが言ふ所を左に

韓國皇室の尊嚴を偉へ韓國民人の福利を増進し之を保證する者の地位より救ひ出さんとするは今の場合日韓合邦の一手段あるのみ

日韓合邦は今回一進會が聲明せる日韓合邦の決議に就き或は輕擧妄動と評し或は現韓國内閣に反對し何か爲にするものゝ如く評するものあるも此の如きは我一進會の歴史を知らざる曖昧者の言なり、抑も我一進會は多年韓政府の虐政に依り韓國千二百萬の蒼生が塗炭の窮境に陷るを慨嘆し明治二十六年奮然として蹶起せり即ち當時の東學黨にして我一進會の前名なり爾來我等同志は暴虐極る韓國政府と爭ひ其結果政府は援を支那に乞ひしより日清戰役となり日本は清國を膺懲して引續き韓政府を扶掖誘導する事となりしにぞ茲に圖らずも我等は日本と軍と戰はざる可らざる羽目に陷り予等同志は散々に潰敗し其結果一家離散最愛の親を殺されし者其の算なく爲に同志は山野に逃れ姓を代へ名を變じて世を忍び以て時の到るを待ち此間一面には黨勢の振興に努め漸く今日を成す素地を作り而して日露戰役の際我等同志は起つて日本軍に從ひ聊か盡す處ありたるより予等同志は會を一進會と改め以前より專ら韓國皇室の安寧尊嚴を保つと共に民人の權利福祉を増進せん事を希ひ居れり而して合邦論の如き彼の海牙密使事件の際予は恰好の時機なりと信じ右に關する談話あり當時予は既に堅き決心を持し居りしも諸種の事情は之を遂行するに至らざりき、從來一進會は一度宣明したる事は必ず遂行し今日迄其聲明を中途に斷念せるが如き事なしされば予を始め同志は今回の合邦問題についても不撓不屈大決心を以て飽迄も初一念の貫徹を期し居れり

大韓協會が最初の勢に似ず中途裏切の態度に出でたるが如きは全く其顧問たる大垣某と稱する日本人にして黄金の前には何等節操なき痴漢の小刀細工に依ると曾禰統監の態度は僭す此場合最も注意を要す或は合邦の上奏文を執奏せざるべしなど唱ふるものあれども苟も其保護國の有力なる政治團体が誠を致して決議せるものを統監の職として執奏せざる理由なし萬一斯の如き事あらんか統監の職責上一大失態と云ふを憚はず否之が爲め統監は其印綬を解かざるべからざるに至るべし宗主國たる日本の側より見れば平和的政治家と謳はれたる伊藤公の薨去後所謂武斷派内閣の時代に於て合邦の決行は列國の意向を斟酌するや測られざれども斯の如きは杞憂にして合邦は獨り日本のみのためならず韓國百年の大計を確立すると共に吾等韓民の福利を増進する唯一の手段なり予は予の故國に於て同志が合邦の聲明をなすと同時に圖らずも伊勢山田に至り大廟に參拜し千二百萬の蒼生を救護し給はんことを神明に祈願し奉れり云々

若い同志の甘まき戀

▲海月亭まつの艶物語

遂ひ四五日前の事三面子は所用ありて午後十二時過ぎさね渡る霜を踏んでの歸るさ南大門通二丁目料理屋海月亭前を通り蒐ると月陰暗き夜目にもそれと諾なる若き男女二人が瓦斯燈明滅の下に佇みて喃々たる蜜語道れには定めし譯ありな秘密ぞ潜むらむと不粹にも物陰に隱れて竊かに窺ふとも知るや知らずの件の男女は甘つたるい戀し嬉しの蟲遍だら奈何な無骨の三面子も鼾殺せられ其場に居堪らず狐鼠々々と引揚げたるが去るほどに此若い同士は抑も何物ならん餘計な處に力瘤を入れて野暮な捜索を進めて見れば男は永樂町一丁目十六番戸村上浪次郎方に同居荒木良一(二三)とか云ふ當世肌の白稀色男にして女は海月亭抱酌婦群馬縣生れ今井まつ(十七)といふ丸顔の色白き愛嬌者とて知られたるが兩人は郷里を同ふして内地よりの交情浅からず末は怎うの恁うのと少からず兩人の小さき胸を悩ましたるがまつは貧家の貧苦を見るに忍びず一昨年春當地に身を沈めたるため來り前記海月亭に酌婦稼ぎ一旦甘き初戀に醉ひたるまつは男戀しくて夜も碌に寝られず遂に思ひ餘りて良一を遥々と呼寄せ男も女の眞心にはたされて兩親には韓國には良い儲け口があると體よく欺き本年二月渡韓して前記の知巳の處に厄介になりて未だ職にも就かずまつは未來やで温突内によく思ひ案じたまゝの逢瀬を樂しみ居れりとなん

●日清人の掴合 太平町一丁目六十二番戸の二遊藝稼業隅田一二方同居無職岡田丑馬(三三)といふ男は其名が示して野獣的なるが去る四日午後十二時過ぎ長谷川町二丁目清國料理屋西順樓事張義忠方に揚り込み酒肴を命じ油濃いところを鱈腹飲食した揚句四十錢の勘定に鐚一文も所持せず同樓の番頭を附馬として宿元へ至り立替へ貰はんとせしも生憎主人不在なりしかば目的を遂せず翌五日早朝支拂ふ事に猶豫を乞ひて體よく附馬を追返したるに翌朝早速右の番頭が來りたるを丑馬はそれと悟り裏口より竊かに透走したるぎり一時姿を隱したるが越れて七日午後同人は隅田と同道して前記西順樓前を通り抜けんとせし折柄樓主の爲め發見せられ茲に嚴しく勘定を請求せられて遂に口論に花が咲き大道の眞中にて日清人三四人入亂れて格闘をれつ初めたるを巡邏中の警官の斯と見て直ちに現場に駈付け双方を取鎭めて取調べたるに前記の次第と判明し勘定は隅田が支拂ふ事に示談せしめ將來を戒めて放還せり

●支那船夫漂着 一昨日仁川の支那巡捕廳に八名の漂着清人屆出でたる處に依れば清國石島より右八名は永合盛號と呼ぶジャンクに搭乘し鹽七萬七千俵煉炭二百個其他種々なる物品及び現金四百圓を積載して仁川港に向け航海中京畿道白牙島の沖合にて突如先月廿九日の大暴風雨に遭遇し本船は積荷諸共逆捲く怒濤の内に沈没したるより乘組員一同は詮方なく命を限りに泳ぎて漸く同島に上陸し九死に一生を得たるが天の與へか沖合に航行する韓船を認めて救けを乞ひ辛ふして仁川に到着するを得たりとの事にて目下同廳にて保護を加へ居れりと云ふ因に積荷の損害は約五千圓なりと

●例の無錢飲食 長谷川町一丁目四十二番戸無職橋本琢郎(三六)及び櫻井町五十一番戸京城區裁判所雇石川巌(三〇)の兩人は名前だけは立派なものだが一昨日旭町一丁目六十四番戸料理店千登里事藤田竹次郎方に兩人打連れて飲食を爲し一圓九十五錢の勘定が出來ず果ては酢の蒟蒻のと言ひて逃走せんとせしかば遂に警官の出張を煩はし強か叱責せられ青くなつて近所の知人より一時立替へて貰ひて事濟みたりとは馬鹿な奴共なり

●京城旭町のボヤ 昨九日午前十一時四十分旭町無番戸韓人家屋の焚火より火の手が揚りたるを白晝の事なれば附近の者直ちに駈付け大事に至らずして消止めたり

●狐鼠泥棒の處刑 仁川宮町二丁目の原田古着店其他十九ヶ所を荒し廻りたる狐鼠泥棒松本榮殿に對する竊盜事件の公判は一昨日仁川地方裁判所にて開廷の結果懲役一年六月に處刑したり

各地の新聞

▲沈沒船主の無情 第二喜佐方丸遭難死体中遺族引渡しを了せるものは五名に過ぎざるに殘余死体は假埋葬に附したるまゝ省る所なく放任せるは船主として其責任を盡さざるものなりとの批難海運業者間に高しと云ふ

▲松島炭坑に放火 四日夜長崎縣西彼杵郡松島炭坑に火を放ちたるものあり辛に大事に到らずして消し止めたり犯人二名即時逮捕せられたりと

▲舊藩主從の訴訟 宮崎縣南那珂郡北郷村字北河内諸井彌市外九名より土地臺帳の氏名變更申請屆と共に金十一萬圓の仕拂訴訟を舊日向國飫肥藩主にして東京市赤阪區一つ木町子爵伊東祐弘氏に對して此程東京地方裁判所に提起したるが被告子爵は此の請求に對して應ずべき理由なしと云へり

▲繼母を怨て自殺 埼玉縣浦和町裏廻り菓子小賣商星野新太郎は繼母さきの虐待に堪え兼ね二日午後家人の不在を機會とし發烟硝酸を服用自殺す

▲知事を毆り殺す さて六日午後二時頃突然大坂府廳舍に乗り込み知事官房に闖入せんとしたる肥大老漢は同市東區森の宮東の町肥料商西田與三郎と云ふ劍客にて近來商業上の失敗より深く高崎知事を怨み居たるが酔餘此の暴擧に出でたるものにて説諭放免

▲藝妓の裁判所行 五日午前堺市龍神廓の妓樓大作、大梅方の抱へ藝妓艶菊、米松、れ玉、なか八、あい、まん子など〳〵へサイと來いと召喚状が舞下がつたので青葉に熱湯を掛た樣になつて出頭したるに大坂力士の千舟川も出頭し居り共に西内檢事の取調べを受け午後退廷したるが聞く所に依れば例の濱寺村長の事件に就てなるらしと

▲新版はござす 四日午前五時頃東京本郷湯島四丁目下宿業兵庫舘にて止宿中なる群馬縣群馬郡總社村字行幸石坂善十郎(二五)なる醫學書生が酸加里を服して自殺したるが原因は東京小石川水道町女子青年會寄留中なる齋藤房子なるものと婚約成りたるも自分は肺病なる爲め到底永久の幸福を享け難きを自覺し媒介人に破談を迫りたる後此の悲に及びたるなるが右房子は此れを聞き「一日でも夫婦となりて看護がして差し上げたかつた」と涙に掻暮れ居る由なり哀れにも氣の毒の事也

▲喜々津殺人犯人 長崎縣西彼杵郡喜々津村字木床名の精神病者安本小市の殺害事件に就ては既報の如くなるが加害者は取調の結果九名以上の見込にて即ち同村二百二十四番戸木下源太郎(五七)同二百三十八番地小崎勘助(三一)二百三十七番地林岩吉(四八)同二百三十五番地田口多吉(五六)松山藤助(三六)等の外に同村林田末吉、林田忠蔵、山崎卯市、西小市等もまた同犯人の嫌疑者として檢擧せられたり、他に二三人の女がこれに加はり居れるやの風説あり小市の死体は木下源太郎方灰小屋に發見せられたるが惨憺目も當てられず因目下取調べ中

▲湯錢改正の認可 大坂に於ける新府令に據る大阪市内湯錢の改定は過日警察本部と各湯屋組合との間にれける交渉成立し大人二錢、小人一錢五厘、三才以下一錢といふ値下に確定しその旨府廳に出願し認可を求めたる處昨日九條、西、北、曾根崎等の各警察署部内は滯りなく許可されしも南、東、天王寺の各組合願書には少しく疑義あるを以て尚詮議中なり

吉凶録

本町五丁目 三一舘判斷

十二月十日 舊十月廿六日 三碧 大安 壬寅

●一白 金屬に關する業務には吉 △二黒 見込違ひ水厄水損避くべし △三碧 稍々重大なる案件の處辨見合すべし 紛失を防ぐべし △四緑 音信小競を開らすことあり △五黄 從來計畫の事を着手宜し色情注意すべし △六白 盗害 紛爭避くべし動土移築吉 △七赤 際害多き日なり開業等凶模樣替方針替旅行支障なし △八白 沈滯の日なり新事改變更効なし殊に取引交際上留意すべし △九紫 衰運なり特に金談取引談判訴訟等に大に凶 大抵吉入門入學婚姻養子旅行等妙なり

美術半衿帯上帯締其他紐類各種
一丁目
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

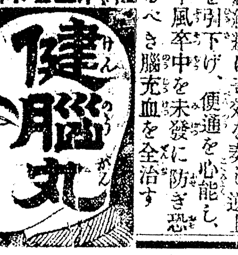
●被雇たし 年三十五普通教育あるものにて鑛山事業に多大の趣味を有す如何なる危險も不厭 姓名在社(四八三)
●被雇度 年三十三才貨物取扱及税關手續に經驗あり英語を解す商店又は會社に雇れたし 氏名在社(四八五)
●女中入用 十五歳以上四十歳以下の上品なる女入用給料望次第保證人を要す(家庭小人數) 龍山老楊町三四兒玉
●被雇度 年廿五寫眞術並に測量等に經驗有り 氏名在社(四八七)
●告上原氏 應募申込あれども通知するに由なし往復はがき又は郵券送付ありたし(係)
●徒弟入用 十三歳より十五六歳迄五六名採用 明治町一丁目 糸山裁縫所
●告ターザー生 紙上の匿名は可なるも絶對の匿名にては通信するに由なし故に住所氏名を本欄係宛にて通知あるに迄掲載を見合はす(係)

物件部

●望測量製圖助手 氏名在社(四九一)
●求職 昨今渡韓の青年拾九歳事務員又は商家に雇れたし 氏名在社(四九〇)
●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊ぞ廻椽二階六疊二間廻椽井戸物置湯取付家賃面談 氏名在社(四七八)
●貸家 北部齊洞廿九の四貸家あり宮内府其他韓國側各官衙には便益の地希望に應じ賄差上候

廣告

神經をなづめ 腦病を全治す
島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、神經病に奇効を奏し、逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す



腦病全治新藥

記憶力悪き人頭痛する人神經衰弱にて氣分鬱ぐ人常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也
(一日分十錢、三日分廿錢、七日分四十錢、二週分八十五錢、五週分金三圓)
本舗大阪心齋橋二丁目 分店大阪平野町堺筋北 支店東京日本橋通 ▲賣捌は全國有名藥店に取次す



本品は其質醇良にて營養分に富み日常の飲料として身體を強壯にし元氣を增し頗る衛生に補益有

蜂印香竄葡萄酒



神戸資生分院

京城病院

京城和生町(南門湯横)
◎花柳病專門附、痔一般(注射療法)
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平

荒物世帯道具商

西村嘉七本店

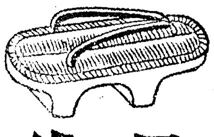
京城本町六丁目
電話二一〇

▲▲御宮堂並に御神前用品一式
漆器類一切和洋蠟燭
其他何品によらず一切取揃居候間多少に不拘御注文仰付られ度伏て奉懇願候
●●●●●●聯合大賣出し加盟店

御正月用品着荷

京城聯合大賣出し福引券差上升

東京



足袋

本店東京
京城大和町一丁目
(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番

浪花節定席
大阪一座開業廣告

兼テ新築中ノ處愈々落成仕ニ付今回大阪浪花節大一座ヲ呼寄セ本月一日ヨリ極メテ安直ニテ精々勉強仕候間何卒御引立ノ程願上候
▲木戸十五錢

京城明治町二丁目
浪花館

◉新漬大根大賣出
◉新漬澤庵◉白菜漬◉奈良漬
官製鹽元賣捌◦農業器具一式◦肥料◦種苗◦新炭◦日用雜貨◦家具◦工業農業消毒用藥品一式

農商工部園藝模範場御下品

諸官衙御用達

京城本町一丁目(長谷川町筋)
三輪商會
電話三八六番

石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警察局長閣下校閲
日韓印刷株式會社發兌

◎印刷鮮明 ◎類集整然
◎校正嚴密 ◎攜帶便利

統監府法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁○定價金六十錢

右發賣豫報以來未だ何日に至らざるに注文の殺到する事日々數百部の多きに達し感謝の至りに堪へず 茲に愈々印刷竣成し法規の大目を網羅し官制官規等に付て發布時日順に記入の便利あり本書は何人も明白に活用し得る樣編纂致したるものにて…此際續々御購入御申込の程願上候 ※此際中の部分は判読困難

明治四十二年十二月一日
京城
日韓印刷株式會社出版部



論より證據

原料價格
技術

三大勉強

京城旭町一丁目
金川靴店

お試しあれ

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

概略營業品目

和洋帳簿諸紙類
文房具學校用品
卷紙封筒手帳類
帽子洋傘クッ靴
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛馬車掛
石鹸香水齒磨類
タオル、ハンカチフ
手袋沓下袋物類

正札 一 引なし

官衙、陸軍 銀行、會社 御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
電話二百〇六番
和洋雜貨卸小賣商

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

明治廿年七月創立
資本金一千萬圓
東京海上運送保險株式會社
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
韓國特約販賣店

時計卸商
仁川本町三丁目
喜多金光堂本店
電話七五〇番

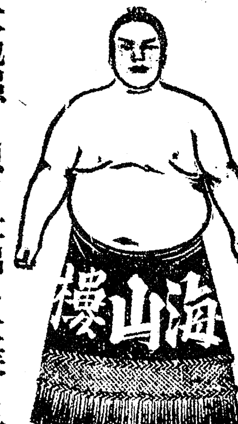
時計卸小賣
京城本町二丁目
喜多金光堂支店
電話千十五番

綿 わた 綿ワタ
たやすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

京城明治町一丁目四ッ角
卸問屋
唐川商店
電話二六一番

擴張廣告

兼て御引立に預り難有奉謝候就ては今回内地より仲居藝妓四五名を招き板場も腕利者を雇ひ其他料理も大勉強を以て仕出し仕候に付忘年新年宴會には何卒御遊旁々御來の程切に奉願上候



京城櫻井町(電話九七八番)
海山樓

原料直輸入廉價調製各種木形新着



弊店の特色御注文品と否とに不拘材料は精選しスタイルは嶄新の粋を集め常に諸君の御滿足を得候
●京龍間は御一報次第店員を派し地方は御一報次第見本帳御送附可仕候
特價
深ゴム靴 六圓五十錢
アミ上靴
淺ゴム靴 五圓五十錢

京城本町一丁目(郵便局前)
東京北村支店
店主 磯部廣吉謹

特約販賣
自製
漬物 味噌 醤油 製造元

大上商店

京城本町五丁目
(電話二二五一番)

和洋酒、㊄精酢、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、鹽辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

●ぜ●ん●そ●く●病●
即妙根治の良藥あり同病にて困難の方は往復端書にて御照會あれ詳細を報ず
◎播磨州明石細工町
山本氏

公告

今般肩書地に代書事務所を開設し熱心誠實且つ迅速を旨とし左記の業務に從事致候
追而日語精通の韓人事務員を雇入日韓人間の交渉事件は無論韓人相互間の事件たりと雖も遺憾なく圓滿に取扱可申候

業務項目
一 民刑事訴訟に關する書類の作成並に法律上諸般の質疑應答
一 土地家屋の證明申請書類の作成
一 不動産登記申請書類作成
一 土地家屋賣買並に金錢貸借の仲介
一 會社定款の作成並に諸契約類の立案
京城鐘路通り地方裁判所東側小路
北野安五郎事務所

輕便安直料理店開業
開店祝として特別大勉强
御料理御壹人前御酒付金五拾錢

此の外何んでも輕便ご安直とを以て御客樣の御望みに應じます

長谷川町一丁目
紅葉床ノ横ニ入
濱の家

●移轉廣告●
從來之營業所狹隘之爲左之處に移轉す
旭町一丁目二百四十七番戸
質商川崎萬次郎
元旭町二丁目
電話六七三番
●移轉廣告●

龍山若松町
島崎鐵工場
電話四四一番

大勉强
理髮 長崎床
龍山榮町民團役所下四ッ角
塚田

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

入院隨意
龍山新市街山下町
内科 小兒科 眼科
原醫院

仁川海岸通
電話三九番
貨物及船客取扱店
郡回漕店



日本郵船株式會社
瀛船仁川出帆廣告
電話十番

●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 十二月十九日後三時出
●大連、太沽行 高砂丸 十二月廿一日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月 日午前六時出
●大連行 酒田丸 十二月 日正午時出
●釜山出帆 元山、清津、浦鹽行 立神丸 十二月 日午後時出

御注意
御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事